3.11 東日本大震災から4年

長い間住みなれた土地で、安心した生活をいつまでも送れるように

東日本大震災が起きてまもなく4年。
一日も早く安心、安全な暮らしができるよう
懸命に復興への道を歩み続けています。
そして、あの日の出来事を風化させてはいけない。
大切なのはこれから。
震災での経験を教訓に、想いを繋げる
明るい未来の塩竈のために。

自然の力を
心に刻み
未来を見つめ
塩竈に生きる

伊保石おーらいタクシー運行開始（H23.11.1）

ふれあいサポートセンター開所（H23.11.15）

応急仮設住宅建設（H23.4.6）

住環境の復興

住まいと暮らしの確保を

市内全域に甚大な被害をもたらし、多くの市民が避難所へ。

落ち着いた暮らしを一日でも早くと、プレハブ応急仮設住宅建設を急ぎ、震災から約二週間後、伊保石地区で第1期工事（60戸）が着工しました。その1カ月後には県内で初めてのプレハブ仮設住宅への入居を迎え、本土、浦戸を合わせ２０６戸の建設が完了しました。

入居者のために伊保石地区の仮設住宅内に「ふれあいサポートセンター」を開設し、健康づくりや生活相談などのサポートを続け、また、交通の利便性を確保するため伊保石おーらいタクシーの運行、ＮＥＷしおナビ１００円バスを増便しました。

より安心できる暮らしを

震災で住宅を失った方々との懇談会やアンケートなどをもとに検討を重ね、平成24年2月1日に災害公営住宅建設事業に着手しました。

2年後の平成26年2月1日、伊保石地区災害公営住宅第1期の戸建住宅31戸が完成しました。

抽選会で選ばれた世帯に鍵が引き渡され、新たな住居で再建に向けた生活がスタートしました。

高齢単身者からファミリー世帯まで幅広いタイプを備えた錦町地区災害公営住宅。

2号棟、3号棟が平成26年12月26日に完成し、お正月を新居で迎えることができました。1号棟は今月下旬に完成予定で合わせて40世帯が新生活をスタートします。

そのほかの災害公営住宅の状況は、清水沢地区（１７０戸）が平成27年度上半期、北浜地区（60戸）は下半期に建築工事に着手する予定であり、現在は両地区とも造成工事中です。

錦町東地区（70戸計画中）は詳細設計を行っており、平成27年度下半期に建築工事の着手、伊保石地区（第2期）は間もなく造成工事に入る予定です。

基幹産業の復活へ

地盤沈下などで建物に大きな被害を受けた水産業界。

水産加工業を再生させるため、復興交付金事業を活用し、関連施設の整備を支援してきました。

また、魚市場は応急復旧によって、震災翌月には県内初の水揚げをすることができました。

現在の新魚市場への整備状況は、高度衛生管理機能を有したB棟が今月中に完成し、A棟C棟も建築工事を進め、早期完成を目指しています。

新魚市場は利用者に使いやすく、地

産業の復興

震災後、初水揚げ（H23.4.14）

錦町地区災害公営住宅鍵引渡し式（H26.12.26）

伊保石地区災害公営住宅入居式（H26.2.1）

牛生雨水ポンプ場竣工記念式典（H26.5.30）

仮設店舗で営業再開（H24.2）

新魚市場建築工事（H27.1.23）

産業の復興

地域経済の活性化を

被災した商店街の復興にむけて仮設店舗設置や、り災商店再生支援、シャッターオープン・プラス事業などを行いました。

現在は海岸通地区の市街地再開発事業の準備を進めており、中心市街地の活性化に向け権利者とともに取り組んでいます。

魚直販施設などを設け、市民や観光客が集う施設として、復興のシンボルとなるよう整備を進めています。

安全な地域づくり

水害に強い塩竈に

震災でポンプ場が損傷。さらに地盤沈下により市内では冠水箇所も増加しました。

牛生雨水ポンプ場が昨年5月に完成し、芦畔町、牛生町地区の大雨被害を大幅に低減できるようになりました。

現在は地盤沈下が著しい港町、尾島町、新富町の排水機能を強化するため、貯留施設やポンプ施設などの整備を進めているほか、藤倉地区の雨水管整備も進めています。

地域住民の不安が解消されるよう一日も早い復旧工事完了を目指しています。

地域防災計画の改定へ

収容人数の約2倍の8，771人が避難所へ避難するなど想定を超えた震災を踏まえこれまでの計画を見直し、改訂しました。

塩竈市防災会議において議論を重ね、指定避難所の増設、収容人数の拡大、情報通信網の充実、食料の確保、給水ポイントの設置、避難行動要支援プランの策定など多岐にわたる災害対策を位置づけました。

速やかに安全な避難場所へ

マリンゲート塩釜から本塩釜駅前のショッピングセンターを結ぶ津波避難デッキの工事が始まります。このデッキは地域住民や観光客が速やかに避難できるように整備するもので、浦戸地区の救援拠点となるマリンゲート塩釜への連絡通路の役割も果たします。

待ち焦がれた運航再開

浮桟橋の流失や航路に堆積した土砂により運休となった市営汽船。

一部区間での運航再開は15日後の3月26日。6月1日に全区間で運航を行い、ボランティアの方々や生活必需品、工事関係物資などを運ぶ、生活航路として再開しました。

流失したために仮設の桟橋を利用していた寒風沢地区では、平成25年12月に浮桟橋が新設されました。

浦戸地区の復興

寒風沢浮桟橋完成（H25.12.26）

津波避難デッキ整備工事安全祈願祭（H27.2.18）

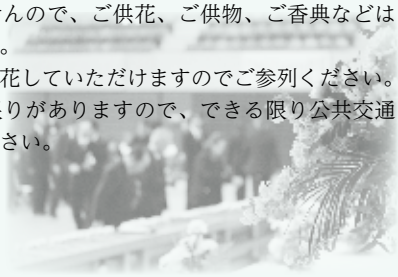
塩竈市防災会議（H25.5.29）

東日本大震災塩竈市追悼式

震災により犠牲となられた市民の方々を追悼するため、追悼式を行います。

と　き　3月11日㈬　午後2時30分
ところ　塩釜ガス体育館（今宮町9番1号）

・式典当日は東日本大震災の発生から4年を迎えます。震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするため、午後2時46分から１分間の黙とうにご協力をお願いいたします。
・追悼式は無宗教で執り行います。
・葬儀ではありませんので、ご供花、ご供物、ご香典などは辞退申し上げます。
・市民の皆さまも献花していただけますのでご参列ください。
・駐車スペースに限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

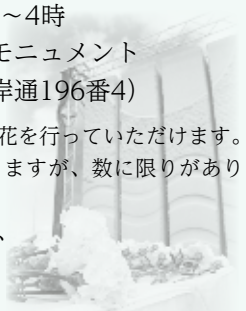


追悼献花所

同時開催としまして、塩竈市東日本大震災モニュメント前に献花所を設けさせていただきますので、より多くの方々の献花をお願いいたします。

と　き　3月11日㈬　午後1時～4時
ところ　塩竈市東日本大震災モニュメント
　　千賀の浦緑地内（海岸通196番4）

・上記時間内で自由にどなたでも献花を行っていただけます。なお、献花用の花は準備しておりますが、数に限りがありますので予めご了承ください。
・会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



問 総務課☎364-1111（内線255）

3.11 POWER of LIFE in SHIOGAMA MIYAGI

と　き　3月11日㈬　18:30開演（18:00開場）
ところ　ふれあいエスプ塩竈（入場無料）
出　演　ATSUSHI（DragonAsh）〈踊り〉
　　柴田三兄妹〈津軽三味線〉
　　Genkids☆のりのり塩竈〈手話＆歌〉
　　秀ちゃんラーメン〈炊き出し〉

問 ふれあいエスプ塩竈☎367-2010

東日本大震災 復旧･復興の記録誌
『明日へ』 －あしたへ－

市民の皆さんや市職員、関係された方々の記憶を風化させることなく後世へ伝えるための被害と復旧復興の記録です。

この記録誌を広報しおがま4月号と一緒に全世帯へ配布します。震災を振り返るとともに、防災・減災の意識と備えの大切を再確認ください。

問 市民安全課防災係☎364-1111（内線245）

野々島地区災害公営住宅（H27.2.23）

浦戸地区の復興

コミュニティーはそのままに

半分以上の住宅が流出・倒壊、ライフラインも寸断され、本市において被害が最も著しかった浦戸地区。

離島という特殊性や特別名勝松島内に位置するため仮設住宅などの工事が遅れましたが、先月、災害公営住宅が一部完成しました。

桂島地区では高台へ集団移転し、野々島では現地再建。これまでのコミュニティーの中で新しい生活がスタートします。

寒風沢地区では建築工事を進めており、朴島でもかさ上げ工事が終了し、建物の建築工事を進めています。

浦戸の基幹産業の再生

ノリやカキなどの浅海養殖漁業の復興に向けて漁港施設の復旧工事と漁港のかさ上げ工事を進めています。

復興支援を縁に

市営汽船創業70周年を記念事業の一つとして、災害時の応援派遣協定などに基づき復旧・復興業務で支援していただいた11自治体と本市のキャラクターをラッピングした「Ｆｒｉｅｎｄ Ｓｈｉｐ！ゆるキャラ丸」を就航しました。

絆と友情をシンボルとし、全国の自治体の方々の支援に感謝するとともに、浦戸復興の願いも込めています。

Friend ship!「ゆるキャラ丸」